

姫路市統計調査支援システム導入業務に係る提案書作成要領

1 様式5として提出を求める提案書の記載上の留意点

- (1) 応募のあった提案については、サービス内容、実績及び価格を重視した総合点により選定します。ついては、貴社の経験、アイデア、創意工夫あふれる提案や、要求水準書で示す必須要件以外の事項であっても、本市にとって有益であるという提案を積極的に行ってください
- (2) 提案書は、A4縦長横書き両面長辺綴じとし、通番のページ番号を必ず記載してください。
- (3) 提案書本文は、12ポイント以上のフォントで記載してください。なお、提案内容を補足する資料を添付する場合、その資料の文字サイズは指定しません。
- (4) 提案書本文の用紙枚数は、A4換算で8枚(16ページ)以内に収めてください。本作成要領に沿って構成されており、提案内容が伝わるものであれば、提案書のページ数は少なくとも問題ありません。
- (5) 提案内容を補足する資料を添付する場合は、A3判の片面1枚のみ可能とします。
- (6) 提案書は、紙媒体に出力したもの計9部(正本1部、副本8部)と、紙媒体で提出する文書すべてを保存した電子媒体(CD-R又はDVD-R)1部を提出してください。電子媒体への保存はPDF形式でしてください。
- (7) 紙媒体に出力したものを提出する際には、製本の必要はありません。
- (8) 提案書の記載様式は指定しません。目次の有無も問いません。ただし、提案書の記載は、次項「提案書の記載事項」に示す項目の順に記載してください。
- (9) 提案書において、会社名を記述する必要がある場合は、参加決定通知書に指定する文字列で代替してください。提案者が特定できるような表示及び記載がある場合は失格となる場合があります。
- (10) 本市の提示する要求水準書を全面的にコピーしたり、「要求水準書のとおり」といった記述に終始したりしないでください。
- (11) 提案書は、日本語で分かりやすく記述してください。専門的な用語については、用語解説を入れるなど、提案内容を理解しやすいように工夫してください。

2 提案書記載事項

(1) 提案書

項目	記載内容
1 業務経歴	
1-1 システムの導入実績	本業務で導入予定の統計調査支援システムについて、地方公共団体への導入実績を、最大5件、記載してください。ただし、調査区地図など地図情報のみで調査員情報等との連携のないシステムは除きます。また、令和7年3月1日時点で稼働中又は導入後の保守契約が継続しているものを対象とします。なお、参加表明手続の際に業務実績調査に記載した実績を記載しても差し支えありません。契約先

	<p>については、地方公共団体名だけでなく、担当部署も記載してください。</p> <p>募集要項に記した、評価点を求める計算式で使用する項目については、次のとおり、参考情報として記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入先の人口規模： 導入先が公表している令和7年3月1日時点での推計人口 ・契約期間： 契約日を記載してください。契約を更新している場合の契約日は当初のものを記載してください。契約のあった日の年度を含めて、令和7年3月1日までの連続した年度で期間を計算します。 例) 令和5年10月1日契約 → 2年度
<p>2 提案内容</p>	
<p>2-1 業務実施方針</p>	<p>導入予定システムの特徴について、本市がシステム導入に際して期待する効果の観点から記述してください。</p>
<p>2-2 業務実施体制</p>	<p>本業務に取り組むに当たり、システムの保有形態と要求水準内容を踏まえ、人員配置、連絡体制等、本業務の実施体制について記述してください。</p>
<p>2-3 業務計画</p>	<p>要求水準書4に示す履行期間のうち、システムの運用開始までの業務実施日程について記述してください。運用開始を早める具体的な計画があれば記述してください。</p>
<p>2-4 情報の登録・管理・連携</p>	<p>多くの情報を負担なく扱えるよう、操作メニューの配置や画面展開が分かりやすいものになっているか、操作性について記述してください。</p> <p>現状、調査員情報と調査区情報とを別々に管理している状態のものがシステムにより一元管理されることにより効率的になる業務や、地図情報上に調査員情報が表示される等の相互の情報の参照のしやすさについて、システムの特徴とともに記述してください。</p> <p>調査区データの新規作成は容易か。また、データの編集時には、調査区の変形・分割・結合は容易であり、隣接する調査区の変形等も同時に行うことはできるか。</p> <p>システムで使用するデータのうち、これまでの業務で使用してきたデータや関連データの移行・取り込み・活用のしやすさについて記述してください。</p>

2-5 システムデータのセキュリティ確保	要求水準書5(6)に示すセキュリティ対策と合わせ、システムが持つセキュリティ機能とその特徴について記述してください。
2-6 各種調査へのシステム機能の対応性	国勢調査に限らず経済センサス等の各種基幹統計調査へのシステムの対応状況について記述してください。
2-7 導入翌年度以降にも運用継続した際の保守内容	国勢調査実施年度以外での、想定される保守・運用支援体制について記述してください。また、国による調査手法の変更等によりシステム改修が生じた際の対応について、調査実施までに対応ができるかなど、費用の有無も含めて記述してください。
	要求水準書4〔システムの利用継続について〕で示すように、令和8年度から令和10年度まで、単年度の保守契約を継続する場合に想定される、3年間の合計の保守契約費用を税抜きで挙げてください。 ここで挙げる費用は、通常の保守の範囲内で想定される金額とし、その金額で、要求水準書6(3)イに示す内容に対応できるものとしてください。
3 その他	
3-1 追加提案	要求水準書に記載の業務内容に関連又は付随する内容で、事業費(受託希望金額)の範囲内で実現する追加提案やシステムの付加機能があれば、具体的かつ詳細に記述してください。

(2) 事業費(受託希望金額)提案

項目	記載内容
様式6	税抜金額で、総額を記入してください。

3 その他の留意事項

- ・提案書中の「1-1システムの導入実績」に記載の実績について、実績を証する契約書等(業務内容が分かる仕様書等を含む)の写しを、実績1件ごとに1部提出してください。
- ・要求水準書に記載している事項は、原則として全て実現することを必須としますが、異なる方法等でその目的を実現させる場合は、その理由を付して記述してください。記載漏れがあった場合、評価が大幅に低くなる可能性がありますので、本市の要求を実現できる提案内容を網羅的に記述してください。